

令和二年度 事業報告書

特定非営利活動法人食の安全と安心を科学する会

1 事業の成果

◎食の安全と安心に関する研究の推進（共同研究）

1. 東京大学（桑原正貴先生）との共同研究（山崎）研究費支出額：100万円／令和2年度

テーマ：「食の安全・安心につながるリスクコミュニケーション手法の開発」

日本リスク学会（11/21@Zoom）にて成果発表：①食品添加物（大瀧）、②ゲノム編集食品（山崎）

2. 伊藤記念財団からの研究助成（山崎）助成金受領額：150万円／令和2年度

「ハム・ソーセージに配合する食品添加物に関するリスクコミュニケーション手法の開発ならびに効果検証」

◎食の安全と安心に関する学術啓発活動（SFSS：NPO食の安全と安心を科学する会）

1. 食の安全と安心フォーラム第18回（1/26）@東大中島董一郎ホール、「消費者市民の安全・安心につながる食品表示とは」、主催：SFSS、後援：消費者庁、食品産業センター、食の安全・安心財団

2. 臨時リスコミ・フォーラム（5/16）@オンライン（Meet）

『新型コロナウイルスの予防法と検査法』講師（野田衛先生）、主催：SFSS

3. 食のリスクコミュニケーションフォーラム（6/28、8/30、9/26、10/25）@オンライン（Meet）

テーマ：①ゲノム編集食品、②健康食品、③食の放射能汚染、④食品添加物

主催：SFSS、後援：消費者庁、東大食の安全RC、協賛：日本生協連、東京サラヤ、QPFS

4. 食の安全と安心フォーラム第19回（7/26）@オンライン（Meet）

『飲食業にとっての新型コロナ時代のリスク低減策 ～食品衛生ならびに法規制上のリスクにどう対処する～』、主催：SFSS、後援：東大食の安全RC、協賛：QPFS、東京サラヤ

5. 機能水シンポジウム2020（10/17）@日本薬学会長井記念ホール、主催：日本機能水学会

「次亜塩素酸水の有効性／安全性に関するファクトチェックにどう取り組むか」（山崎）

6. 徳島県消費者大学校大学院講座（徳島県・消費者庁の共催）11月に講義動画収録

「食品安全リスクコミュニケーター養成・食品表示コース」：受講者にWEB配信

*SFSSが講義収録運営を受託（予算112万円）、山崎が講義1コマ、ワークショップ1コマを担当

7. 日本食品科学工学会産官学イノベーションセミナー（11/5）@キューピー本社ホール

テーマ：「価値発信の進化と市場創造への提言」、SFSSが司会進行・事務局運営を支援

8. 食の安全・安心懇話会（11/17）@オンライン（Meet）、企画：阿紀

主催：SFSS、テーマ：食品事業者むけ（異物混入対応）、講師：カルビー(株)中野様ほか

◎食の安全と安心に関わる中立的情報公開（詳細はこちら⇒ <http://www.nposfss.com/>）

1. 季刊誌：1月（冬号）、5月（春号）、8月（夏号）、11月（秋号）の4回発行済み。
編集長：山崎、編集委員：芦内、守山、若林、miruhana
2. メルマガ：山崎から毎月1～2回のご案内メール配信（配信先：約2000名）
3. ホームページ：活動予定、活動報告、食の安全・安心Q&A、食のファクトチェック、食品安全リスク動画等の逐次更新。理事長雑感毎月更新。編集長：山崎、編集委員：miruhana
4. ツイッター：ツイBOTで活動告知・食の安全安心情報等を毎日発信（1800件/月、25万PV/月）。
編集長：山崎、編集委員：miruhana
5. メディアむけ情報提供：
 - ニッポン消費者新聞2月1日号：「SFSS食の安全と安心フォーラム第18回」取材記事
 - 2月：『栄養と料理』3月号：「安全？危険？なぜ不安？食品添加物のギモン」山崎監修
 - 7月：『栄養と料理』8月号「悪玉コレステロールを下げる食品の選び方」山崎監修
 - 9月：月間エネルギーレビュー10月号「食のしきい値を考える」山崎著

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【5,121】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
食の安全と安心に関する研究の推進	食の安全と安心に関する研究を2テーマ採択した。	上記「1.事業の成果」のとおりに、4月より継続。	東京大学大学院農学生命科学研究科	3人	生活者全般、食品関連企業および研究機関	不特定多数	1,722
食の安全と安心に関する学術啓発活動	シンポジウム、フォーラム、研修会等の開催、運営、およびその広報活動を実施した。	1/26, 5/16 6/28, 7/26 8/30, 9/26 10/17, 10/25 11/5, 11/17	東京大学農学部、日本薬学会長井記念ホール、キューピー本社ホール	10人	生活者全般、食品関連企業および研究機関	800人	2,030
食の安全と安心に関わる中立的情報公開	ホームページを構築・管理し、広報活動を実施。季刊誌・メルマガを定期的に発行した。	上記「1.事業の成果」のとおりに、1年を通して継続。	NPO事務局（東京、大阪）	6人	生活者全般、食品関連企業および研究機関	不特定多数	1,369

令和二年度 活動計算書（その他事業がない場合）

特定非営利活動法人食の安全と安心を科学する会
（単位：円）

科	目	金額	小計・合計
(A) 経常収益			
1 受取会費			5,524,000
正会員受取会費	524,000		
賛助会員受取会費	5,000,000		
2 受取寄附金			81,000
受取寄附金	81,000		
3 受取助成金等			1,500,000
受取補助金	1,500,000		
4 事業収益			2,147,780
事業収益（シンポジウム参加費）	429,000		
事業収益（シンポジウム協賛金）	400,000		
事業収益（業務受託費）	1,318,780		
5 その他の収益			20
受取利息	20		
経常収益計			9,252,800
(B) 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			1,293,000
シンポジウム講師料	1,293,000		
(2) その他経費			3,827,719
広報費	1,369,210		
研究委託費等	1,722,000		
シンポジウム運営費	476,009		
シンポジウム会場費	36,000		
寄付金支出	224,500		
事業費計			5,120,719
2 管理費			
(1) 人件費			1,442,000
給料手当	1,442,000		
福利厚生費	0		
(2) その他経費			1,948,697
消耗品費	51,854		
通信運搬費	165,197		
地代家賃	1,248,000		
旅費交通費	437,158		
飲食（会議）費	3,878		
税金	11,370		
振込手数料	31,240		
管理費計			3,390,697
経常費用計			8,511,416
当期経常増減額 (A) - (B) . . . ①			741,384
(C) 経常外収益			
固定資産売却益			
過年度損益修正益			
経常外収益計			0
(D) 経常外費用			
固定資産売却損			
災害損失			
過年度損益修正損			
経常外費用計			0
当期経常外増減額 (C) - (D) . . . ②			0
税引前当期正味財産増減額 ①+② . . . ③			741,384
法人税、住民税及び事業税 . . . ④			
前期繰越正味財産額 . . . ⑤			1,695,330
次期繰越正味財産額 ③-④+⑤			2,436,714

令和二年度 貸借対照表

特定非営利活動法人食の安全と安心を科学する会
(単位：円)

科 目	金 額	小計・合計
【A】 資 産 の 部		
1 流動資産		
現金預金 未収金 棚卸資産	2,436,714	
流動資産合計・・・①		2,436,714
2 固定資産		
(1)有形固定資産 車両運搬具 什器備品		
(2)無形固定資産 ソフトウェア 借地権		
(3)投資その他の資産 敷金 長期貸付金		
固定資産合計・・・②		
【A】 資 産 合 計 ①+②		2,436,714
【B-1】 負 債 の 部		
1 流動負債		
未払金 預り金		
流動負債合計・・・③		
2 固定負債		
長期借入金 退職給付引当金		
固定負債合計・・・④		
負 債 合 計 ③+④		
【B-2】 正 味 財 産 の 部		
前期繰越正味財産額	1,695,330	
当期正味財産増減額	741,384	
正 味 財 産 合 計		2,436,714
【B】 負 債 及 び 正 味 財 産 合 計 【B-1】 + 【B-2】		2,436,714